平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名　石原産業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4028　URL　http://www.iskweb.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井　一孝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長　(氏名) 寺川　佳成　TEL 06-6444-1850

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,877	△2.7	2,050	27.1	539	16.5	277	―
24年3月期第1四半期	29,678	5.1	1,613	90.1	462	―	△69	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　1,425百万円　(143.8%)　24年3月期第1四半期　584百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.69	―
24年3月期第1四半期	△0.17	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	180,659	51,706	28.6
24年3月期	175,432	50,281	28.7

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　51,690百万円　24年3月期　50,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,000	0.5	1,400	△56.2	△200	―	△200	―	△0.49
通期	120,000	17.2	9,000	△7.8	5,600	△30.1	3,500	18.6	8.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	403,839,431 株	24年3月期	403,839,431 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,759,021 株	24年3月期	3,753,154 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	400,083,401 株	24年3月期1Q	400,127,115 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１　当四半期決算に関する定性的情報..... 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報..... 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報..... 2
(3)　連結業績予想に関する定性的情報..... 2
２　サマリー情報（注記事項）に関する事項..... 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動..... 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... 3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... 3
(4)　重要な偶発債務..... 3
３　四半期連結財務諸表..... 5
(1)　四半期連結貸借対照表..... 5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間..... 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間..... 8
(3)　継続企業の前提に関する注記..... 9
(4)　セグメント情報等..... 9
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... 10

1　当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期比８億円減の288億円となりました。

無機化学事業の売上高は前年同期並みの148億円となりました。主力の酸化チタンについては、世界的な景気減速の影響により、輸出を中心に数量は減少しましたが、前年度にチタン鉱石価格高騰に対応した販売価格の改定が進んでいたことから、売上高は前年同期並みとなりました。機能材料については、前年同期に比べ電子部品用途向け販売が減少しましたが、脱硝触媒用途向け販売が増加したことなどから、売上高は前年同期並みとなりました。有機化学事業の売上高は前年同期比10億円減の131億円となりました。主力の農薬については、国内販売は概ね堅調に推移しましたが、震災の影響で特殊要因による出荷増があった前年同期に比較して微減となりました。海外では米州で殺菌剤の販売が伸びましたが、欧州では前年同期に増加した除草剤の販売が減少しました。建設事業の売上高は６億円（前年同期比２億円増）、その他の事業の売上高は２億円（前年同期並）となりました。

利益面では、チタン鉱石価格高騰に伴い当期の製造コストが大幅に上昇しましたが、総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価への影響を緩和したことなどから、営業利益は前年同期比４億円増の20億円、経常利益は為替差損の増加などにより前年同期並みの５億円、四半期純利益は２億円（前年同期は四半期純損失69百万円）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて52億円増加し1,806億円となりました。流動資産は、53億円増加し1,098億円となりました。これは、現預金の23億円減、受取手形及び売掛金の54億円増、たな卸資産の17億円増などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末並みの708億円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて38億円増加の1,289億円となりました。これは、借入金の28億円減、支払手形及び買掛金の59億円増などによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて14億円増加し517億円となりました。これは四半期純利益２億円の計上と為替換算調整勘定11億円の改善によるものであります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間につきましては、第１四半期の実績ならびに最近の事業環境を踏まえて、平成24年５月14日に公表いたしました連結業績予想を売上高550億円、営業利益14億円、経常損失２億円、四半期純損失２億円に下方修正しております。また、個別の業績予想につきましても、売上高370億円、営業損失４億円、経常損失19億円、四半期純利益34億円に修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「平成25年３月期第２四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、通期の業績予想につきましては、為替動向や酸化チタンの海外市況動向など、今後の事業環境の先行きが極めて不透明な状況にあることから、前回発表（平成24年５月14日）の業績予想は修正せずに据え置き、第２四半期連結累計期間の業績発表時に改めて見直しを行う予定であります。

2　サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4)　重要な偶発債務

当社四日市工場内の土壌・地下水の汚染修復対策並びに工場内に存在すると推定される埋設物への措置費用については、会計期間に支出した費用及び四半期末において合理的に見積もられる範囲内の費用を特別損失に計上することとしていますが、当期新たな費用は発生しておらず、平成23年度以前に計上した引当金の範囲で対応しております。それ以外で現時点において合理的に見積もることができない恒久的な汚染修復対策の費用及び埋設物の措置費用は計上しておりません。

1　四日市工場内における土壌・地下水汚染への対応

コンプライアンス総点検後に実施した当社四日市工場内の土壌・地下水調査の結果、主に過去の生産活動に由来すると考えられる汚染が判明したため、当社は三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出書を、所管する四日市市に提出しました。その後、第三者の学識経験者による環境専門委員会の指導と助言の下、汚染状況及び汚染源の特定に関する調査、汚染の拡散防止策にかかわる設計データを収集してきております。

平成22年度は原因物質の除去や不溶化の工法検討のために試験施工を実施し、平成23年度は汚染地下水の拡散を防ぐための揚水設備と水処理設備を設置して試験揚水を開始しました。

平成24年度は試験揚水の結果等を踏まえて揚水設備を拡充し、本格的な揚水を段階的に開始する他、これまでの調査や試験結果などに基づく新たな試験施工を予定しており、具体的な汚染修復対策についての検討を継続します。

2　四日市工場内に存在すると推定される埋設物への対応

コンプライアンス総点検において公表した、四日市工場内において撤去を要すると考えられる埋設物等の現時点における調査結果は、下記項目に記載のとおりであります。将来的に一定の範囲での業績への影響は避けられないものと考えていますが、当該場所を含め工場内各所の空き地が、広くフェロシルトの仮保管場所となっている状況下では、効率的に詳細調査を継続することができず、現在も埋設物の種類・性状・埋設量等の全体概要の確認には至っておりません。

このような現状に鑑み、下記案件についての埋設物の埋設位置・範囲・性状・数量の特定や適切な撤去方法など更なる細部検討は、四日市工場内で仮保管中であるフェロシルトの最終処分が完了する平成26年度以降とし、それまでの間は、現在も実施している周辺環境への影響を継続的にモニタリングしてまいります。

① 第２グラウンドの埋設物

当該場所は、過去に沈澱池として使用されていた経緯から、合法的に処理された廃棄物も存在しており、これらと違法性の認められる埋設物を峻別の上撤去することとなります。埋設物の位置を特定するための確認調査の過程で、地中での金属反応と他の地層と異なる地質が存在することを確認しており、ボーリング及び試掘調査を実施した結果、一部の廃棄物（金属物）の埋設が確認されています。

② 旧ＳＲ（合成ルチル）工場跡地の無機性汚泥など

同工場跡地で仮保管していた施工地からの回収フェロシルトは、平成21年１月から搬出を開始し、搬出が完了した区画で一部掘削を実施しました。一部の掘削区画からはフェロシルトと思われる無機性汚泥が確認されています。

3　四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,195	19,803
受取手形及び売掛金	26,160	31,578
商品及び製品	26,115	28,017
仕掛品	5,295	5,507
原材料及び貯蔵品	21,030	20,634
繰延税金資産	2,229	2,546
その他	1,667	1,904
貸倒引当金	△187	△182
流動資産合計	104,506	109,810
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	21,337	21,906
その他（純額）	32,566	31,854
有形固定資産合計	53,904	53,760
無形固定資産	341	342
投資その他の資産		
投資有価証券	4,454	3,922
繰延税金資産	10,279	10,187
その他	2,085	2,772
貸倒引当金	△138	△136
投資その他の資産合計	16,680	16,745
固定資産合計	70,925	70,848
資産合計	175,432	180,659

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,166	25,121
短期借入金	34,504	31,310
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	421	311
フェロシルト回収損失引当金	2,131	2,297
その他の引当金	1,078	1,562
その他	8,210	10,093
流動負債合計	65,712	70,896
固定負債		
社債	1,600	1,600
長期借入金	36,179	36,474
退職給付引当金	7,952	8,142
フェロシルト回収損失引当金	7,851	7,016
その他の引当金	554	554
その他	5,300	4,267
固定負債合計	59,438	58,056
負債合計	125,151	128,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,626	10,626
利益剰余金	1,237	1,515
自己株式	△677	△677
株主資本合計	54,607	54,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	2
繰延ヘッジ損益	△76	△68
為替換算調整勘定	△4,352	△3,157
在外子会社年金債務調整額	27	29
その他の包括利益累計額合計	△4,341	△3,194
少数株主持分	14	15
純資産合計	50,281	51,706
負債純資産合計	175,432	180,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)
売上高	29,678	28,877
売上原価	23,031	21,662
売上総利益	6,646	7,215
販売費及び一般管理費	5,033	5,164
営業利益	1,613	2,050
営業外収益		
受取利息	6	12
受取配当金	12	25
その他	131	68
営業外収益合計	150	106
営業外費用		
支払利息	458	460
持分法による投資損失	449	462
為替差損	178	418
その他	214	275
営業外費用合計	1,302	1,617
経常利益	462	539
特別利益		
固定資産売却益	0	―
特別利益合計	0	―
特別損失		
固定資産処分損	287	225
環境安全整備引当金繰入額	83	―
その他	0	―
特別損失合計	370	225
税金等調整前四半期純利益	92	314
法人税、住民税及び事業税	205	202
法人税等調整額	△43	△165
法人税等合計	161	36
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△69	277
少数株主利益又は少数株主損失（△）	0	△0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△69	277

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△69	277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△57
繰延ヘッジ損益	－	8
為替換算調整勘定	693	1,207
在外子会社年金債務調整額	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△11
その他の包括利益合計	654	1,148
四半期包括利益	584	1,425
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	583	1,424
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	14,831	14,143	395	308	29,678	－	29,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	264	385	650	△650	－
計	14,831	14,143	660	694	30,328	△650	29,678
セグメント利益又は損失（△）	1,984	201	△155	57	2,087	△473	1,613

（注）１ 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△473百万円には、セグメント間取引消去62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△536百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　地域に関する情報

売上高　（単位：百万円）

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
10,846	5,831	2,425	10,514	62	29,678

（注）１ 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
２ 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール
(2) 米州　：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
(3) 欧州　：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	14,836	13,123	664	253	28,877	－	28,877
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	43	341	385	△385	－
計	14,836	13,123	707	595	29,263	△385	28,877
セグメント利益又は損失（△）	2,536	47	△123	40	2,500	△449	2,050

（注）１ 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△449百万円には、セグメント間取引消去59百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　地域に関する情報

売上高　（単位：百万円）

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
10,964	6,091	3,479	8,251	91	28,877

（注）１ 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
２ 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール
(2) 米州　：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
(3) 欧州　：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。